

TOSHIN Hearing NEWS

2019年3月発行

JapanTrak 2018 調査報告が公開された

ジャパントラックとは

一般社団法人日本補聴器工業会が公益財団法人テクノエイド協会の後援とEHIMA(欧州補聴器工業会)の協力を得て行う、我が国において一般の人々が聞こえの不自由さ(難聴)や補聴器についてどのように考えているか、補聴器の使用状況はどうなっているかなどについての大規模実態調査で、欧米諸国で実施されている調査の日本語版となっており他国と直接比較ができる。2012年、2015年、2018年と今回で3回目の調査。

【ジャパントラック 2018 のサンプルサイズ】

代表サンプル (ステップ 1)	基数=13,710 人 (2015: 14,316 人、2012: 15,036 人)
難聴者 (ステップ 2)	基数=1,306 人 (2015: 1,306 人、2012: 1,348 人)
○補聴器非所有難聴者 (HL)	基数=885 人 (2015: 890 人、2012: 898 人)
○補聴器所有者 (HA)	基数= 421 人 (2015: 416 人、2012: 450 人)

JapanTrak 2018 分析結果 抜粋(欧米諸国との比較)

難聴者率(自己申告)

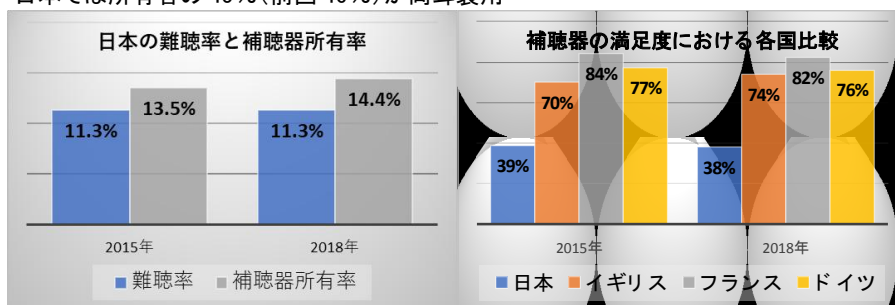
日本は 11.3%と前回と同じ結果。他国もほぼ変わらず日本はドイツ(12.2%)に次いで2位。

補聴器の平均価格

日本の補聴器1台の平均価格は15万円。(10万~20万円が48%、50万円以上も1%存在)

難聴者の補聴器所有率

14.4%と前回に比べ若干増加したが、アメリカ30.2%欧州諸国は36%以上と依然として差が大きい。日本では所有者の45%(前回46%)が両耳装用



補聴器の全体的満足度

前回より1ポイント悪化したのが2年以内の購入者の満足度は49%で、2年以上前の購入者の満足度は33%となっており、個別には改善傾向にあると考えられる。しかしデータ集計している11カ国中、日本の満足度は他国と比較すると依然半分程度の結果で群を抜いて最下位となっている。また、補聴器に対する期待は、補聴器の使用前、使用後において補聴器所有者の66%が補聴器は期待していた通り、あるいは期待していた以上に良く動作しているとの印象を持っており、前回の60%に対し6ポイント改善した。

生活の質(QOL)向上に寄与する補聴器の役割

さまざまな側面に対して大変良い影響を与えている。特に「安心感」「会話のしやすさ」「自分自身の気持ち」などに改善が見られる。補聴器所有者の89%が補聴器の使用により生活の質(QOL)が何かが改善したと答えている。

装用耳別満足度

	満足度	平均装用時間/日	全く使用しない
両耳難聴・両耳装用	42%	8.9 h	2%
両耳難聴・片耳装用	25%	6.7 h	12%

目次

- 1 JapanTrak 2018
- 2 2018年 補聴器出荷台数まとめ
- 3 新製品 レポート
- 4 店舗情報

両耳装用者は片耳装用者に比較して補聴器の満足度は高い。1日の使用時間が長く、補聴器を使用しない割合も低い。片耳装用者の多くは、片耳装用と両耳装用の効果は同程度と考えられているが、全体的満足度の高さにおいて、両耳装用は片耳装用を凌駕している。
Source: Anovum - JapanTrak 2018

まとめ

3年前の前回調査と比較し、ほとんどの代表的な項目でほぼ横ばいの結果となった。国民生活センターへのクレーム数は減っているが、普及率や満足度というプラス面は伸びていない。よって日本において、まだまだ補聴器の満足度を上げるための努力と工夫が不足していると言える。

2018年補聴器出荷台数まとめ

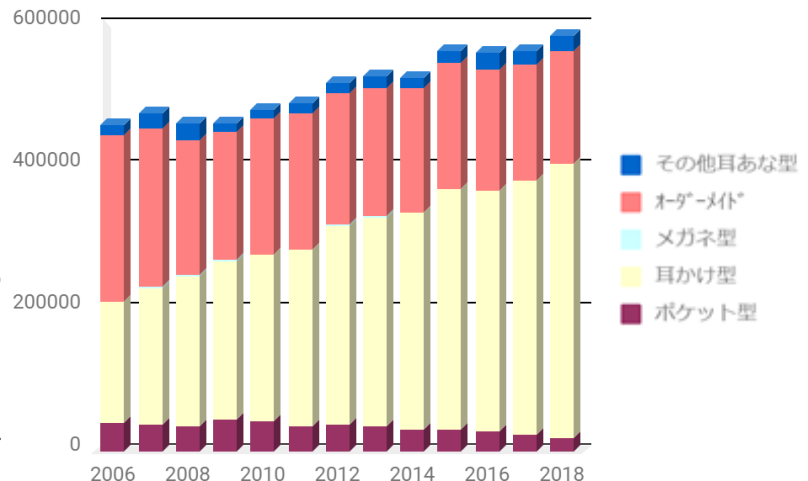
一般社団法人 日本補聴器工業会

2018年1年間の日本補聴器工業会加盟メーカーが国内に出荷した補聴器の台数は

585,255台 前年比4%増で

出荷台数は過去最多となった。

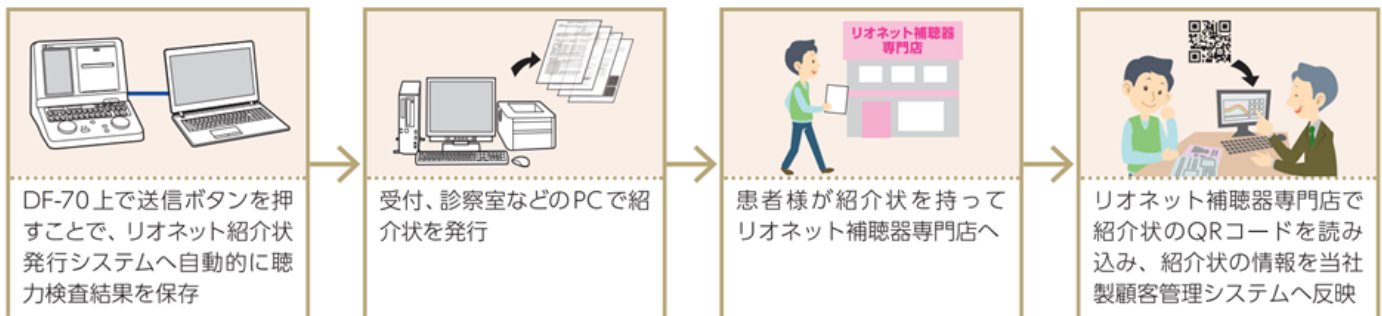
形状別としては耳かけ型の台数が大きく上昇しており、前年比7.9%増であった。耳あな型オーダーメイドは4.4%減、ポケット型は14.2%減となり、ポケット型は初めて20,000台を割り込んだ。依然として耳かけ型の増加傾向は続いており、12年で倍以上になった。補聴器の出荷台数は2015年から3年間続いた足踏み状態から脱却し、今後も増加していく事が予想され、近い将来600,000台に到達すると推測できる。



『補聴器適合に関する診療情報提供書(2018)』※を掲載した

「リオネット紹介状発行システム」をリオンが発売開始

紹介状発行の流れ



操作は非常に簡単で、これにより補聴器適合に関する診療情報提供書作成の労力がかなり軽減される。

主な特徴

- 『補聴器適合に関する診療情報提供書(2018)』と『補聴器適合に関する報告書』※が掲載されており補聴器販売店への紹介をスムーズに行っていただけます。
- DF-70上で送信ボタンを押すことで、リオネット紹介状発行システムへ自動的に聴力検査結果が保存されます。
- マウス操作で簡単に情報入力が可能です。
- 紹介先のリオネット補聴器専門店の店舗情報(地図など)も印刷できます。
- 紹介状の発行はウェブブラウザを利用するため、クライアントPCの性能に依存しません。
- リオネット補聴器専門店で紹介状のQRコードを読み込み、情報をリオン製の顧客管理システムに反映します。
- オーディオグラムの「重ねて表示」機能を搭載しています。
- 補聴器紹介患者の履歴管理が可能です。

※一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会 書式
情報元 リオン株式会社ホームページより <https://www.rion.co.jp/>

店舗情報

大阪府堺市にある場店が移転し、1月28日に拡張リニューアルオープンいたしました。広さが以前の倍になり、ゆったりとくつろいでいただけるスペースになりました。隣室への移転のため住所等の変更はございません。

住 所：〒590-0028

大阪府堺市堺区三国ヶ丘御幸通八番地
(三国ヶ丘ビル1階)

電 話：072-222-3324

ファックス：072-222-3349

営業時間：午前10時～午後6時(日曜・祝日は休業)

TOSHIN Hearing NEWS 発行元

東神実業株式会社
トーシン・補聴器センター



本 社：〒550-0002 大阪市西区西本町2-4-7

T E L：06(6531)2541 F A X：06(6531)3398

U R L：<http://www.toshin-ha.co.jp/>